

議事録

第3回 AVeC スタディ研究会議（厚労省班会議を兼ねる）

2017. 1. 20 京都大学芝蘭会館別館

参加者（敬称略）：

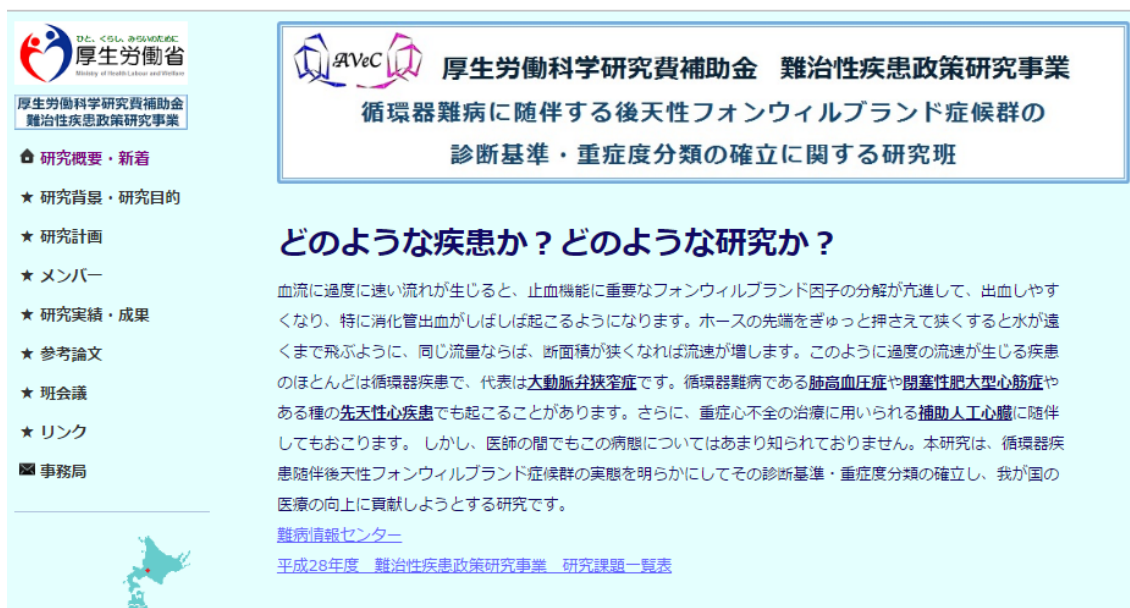
東北大学加齢医学研究所	堀内久徳、山下美保子
東北大学病院循環器内科	矢尾板信裕
〃 心臓血管外科	坂爪公
京都大学循環器内科	渡部宏俊
国立循環器病研究センター心臓血管内科	高濱博幸
〃 分子病態部	小亀浩市
天理よろづ相談所病院循環器内科	田村俊寛、大林裕樹
〃 心臓血管外科	山中一朗
〃 臨床検査部	下村大樹
奈良県立医科大学輸血部	松本雅則、早川正樹
小倉記念病院循環器内科	安藤献児、三浦瑞樹
久留米大学心臓血管内科	福本義弘
日本赤十字社近畿ブロック血液センター	藤村 吉博

[1] AVeC スタディ：今年度の報告

1. 研究計画の変更（前回の研究会議で決まった変更点を含む）

- (1) 研究分担者の変更・追加
- (2) 本年度、弁置換後弁周囲リーク、大動脈弁閉鎖不全、肺移植、末梢動脈疾患(PAD)、大動脈疾患を追加した。

2. ホームページを作成した (<http://www.idac.tohoku.ac.jp/avec/>)。日本動脈硬化学会ホームページにリンクを張っていただいた。日本血栓止血学会ホームページでのリンクを依頼中である。



The screenshot shows the AVeC website interface. On the left is a sidebar menu with the following items: 研究概要・新着, 研究背景・研究目的, 研究計画, メンバー, 研究実績・成果, 参考論文, 班会議, リンク, 事務局. The main content area features the AVeC logo and the title: 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業 循環器難病に随伴する後天性フォンウィルブランド症候群の診断基準・重症度分類の確立に関する研究班. Below the title is a section titled 'どのような疾患か？ どのような研究か？' with a detailed text description of the research. At the bottom of the main content, there are links for '難病情報センター' and '平成28年度 難治性疾患政策研究事業 研究課題一覧表'.

3. データベースを作成した。

4. 補助人工心臓関連

植込型補助人工心臓における AVWS 研究グループの結成と The AVeC Study との連携：我が国における植込型補助人工心臓 主要 10 診療施設が出血性合併症と AVWS の関連について多施設共同前向き研究を本 The AVeC Study と連携して実施することとなった（2017.2 キックオフミーティング予定）。さらに、米国ペンシルベニア大との共同研究を開始した（国際機械的補助循環学会国際共同研究最優秀賞受賞）。

5. 発表論文：

1. K. Sakatsume, M. Akiyama, K. Saito, S. Kawamoto, H. Horiuchi, Y. Saiki (2016) Intractable bleeding tendency due to acquired von Willebrand syndrome after Jarvik 2000 implant (a case report). *J Artificial Organs* 19, 289-292.
2. Naito N, Mizuno T, Nishimura T, Kishimoto S, Takewa Y, Eura Y, Kokame K, Miyata T, Date K, Umeki A, Ando M, Ono M, Tatsumi E (2016) Influence of a Rotational Speed Modulation System Used With an Implantable Continuous-Flow Left Ventricular Assist Device on von Willebrand Factor Dynamics. *Artif Organs.*, 40, 877-883.

3. Yamashita K, Yagi H, Hayakawa M, Abe T, Hayata Y, Yamaguchi N, Sugimoto M, Fujimura Y, Matsumoto M, Taniguchi S. (2016) Rapid Restoration of Thrombus Formation and High-Molecular-Weight von Willebrand Factor Multimers in Patients with Severe Aortic Stenosis After Valve Replacement. *J Atherosclerosis Thombosis* 23, 1150-1158
4. Kokame K. (2016) Subsequent Response of VWF and ADAMTS13 to Aortic Valve Replacement. *J Atheroscler Thromb.*, 23, 1141-1143.
5. T. Tamura, H. Horiuchi, M. Imai, T. Tada, H. Shiomi, M. Kuroda, S. Nishimura, Y. Takahashi, Y. Yoshikawa, A. Tsujimura, M. Amano, Y. Hayama, S. Imamura, N. Onishi, Y. Tamaki, S. Enomoto, M. Miyake, H. Kondo, K. Kaitani, C. Izumi, T. Kimura, Y. Nakagawa (2015) Unexpectedly high prevalence of acquired von Willebrand syndrome in patients with severe aortic stenosis as evaluated with a novel large multimer index *J Atherosclerosis Thombosis* 22, 1115-1123
6. Fukumoto Y. (2015) Impact of Acquired von Willebrand Syndrome in Severe Aortic Stenosis. *J Atheroscler Thromb.*, 22, 1113-1114.
7. 坂爪公、堀内久徳 (2016) 「高ずり応力が引き起こす後天性フォンウィルブランド症候群」 *人工臓器* 45, 225-228
8. 堀内久徳、松本 雅典、小亀 浩市 (2016) 「循環器疾患随伴後天性フォンウィルブランド症候群の臨床的インパクト」 *血栓止血誌* 27, 316-321
9. 藤村吉博 (2016) 「血栓止血因子 VWF と血管新生の連関」 *BIO Clinica* 31, 559.
10. 堀内久徳 (2016) 「循環器異常そのものが招く出血傾向」 *BIO Clinica* 31, 562-563
11. 松本雅則 (2016) 「フォンウィルブランド因子とその切断酵素 ADAMTS13」 *BIO Clinica* 31, 564-568
12. 田村俊寛 (2016) 「大動脈弁狭窄症に伴う消化管出血：ハイド症候群」 *BIO Clinica* 31, 569-572
13. 大場豊治、福本義弘 (2016) 「肺高血圧に伴う後天性フォンウィルブランド症候群」 *BIO Clinica* 31, 573-576
14. 坂爪公、齋木佳克 (2016) 「機械的補助循環治療の現況とその合併症としての後天性フォンウィルブランド症候群」 *BIO Clinica* 31, 577-580
15. 本澤有介、松浦稔、仲瀬裕志 (2016) 「消化管血管異形成 (angiodysplasia) の病態とその対処法」 *BIO Clinica* 31, 581-584

[2] 本年度の研究計画：

(1) 論文化等：

特に、肺高血圧、僧帽弁閉鎖不全、肥大型心筋症、PAD、PCPS に力を入れて頂

きたい。現在、以下の論文化を考慮中。

1) VWF 多量体解析の標準法・定量法:40 例の健常人を奈良医大が集積。東北大、国循分子病態部に配布して施設間のばらつき等を評価し、標準血漿を作成予定。血液型による差異等を評価し、出来れば論文化したい。

2) 大動脈弁狭窄症：小倉記念病院を中心にすでに 200 例あり、出血性合併症の既往や Hb 値、TAVI 等の影響を含めて論文化したい。

3) PAD：小倉記念病院より、PAD に出血症例が多い印象があるとのことで、約 50 例の検体が送られた。この解析結果によっては、単独で論文化するか、あるいは、全体で症例を募ってまとめるか、協議する。

4) 厚労省研究は 2 年計画であり、情報発信が求められており、症例数が集まり次第、他の疾患についてもまとめを開始したい。

（2）症例登録等：症例登録フォーム、手順書をリニューアルした（2017.1.20 改訂版）。申請希望にお応えして配布可能な物品あり。ご相談頂きたい。